

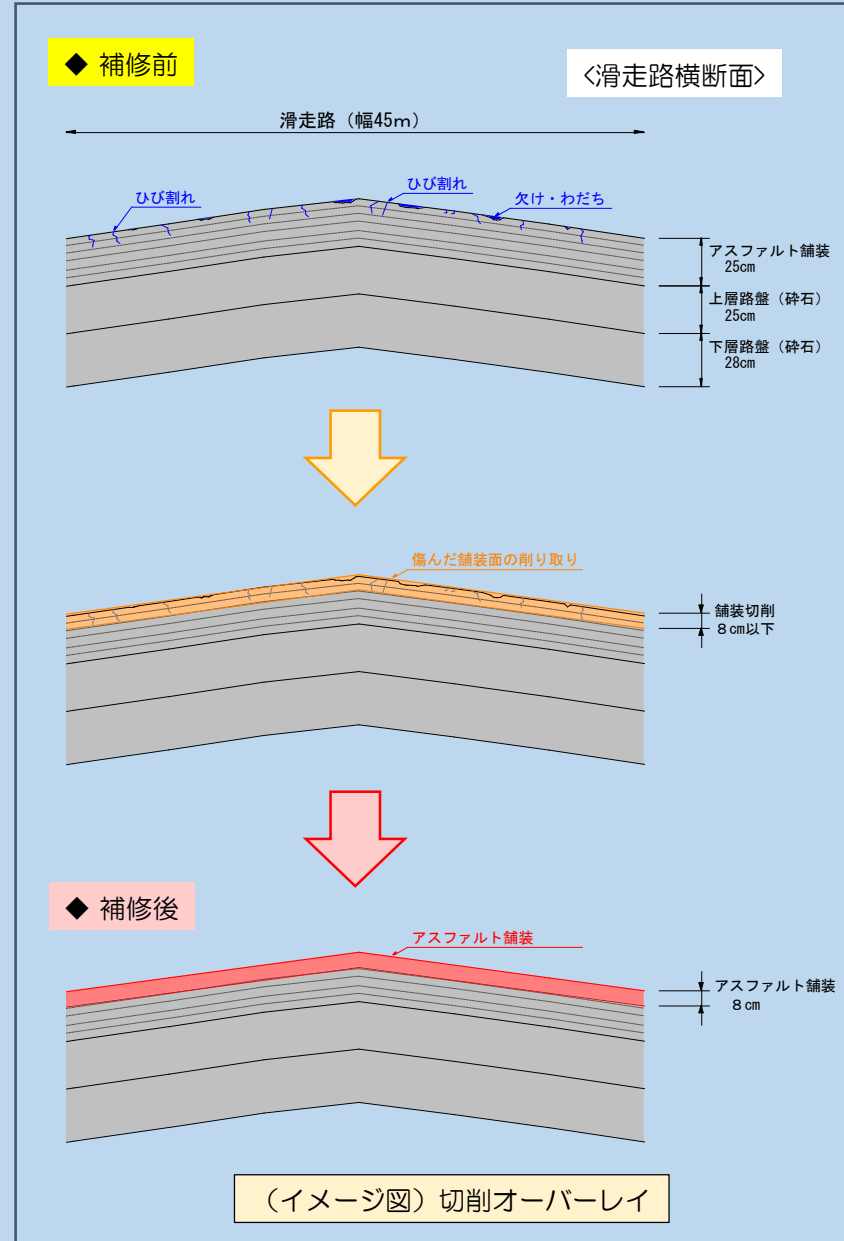
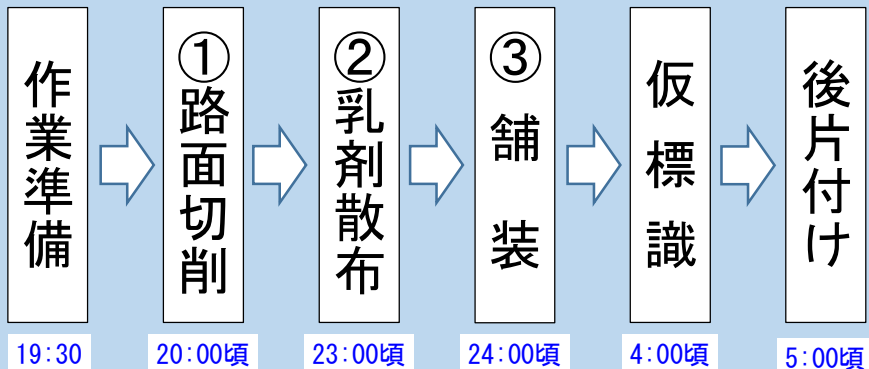
切削オーバーレイ工事について

経年劣化に伴う滑走路面のひび割れ等について、「ひび割れの除去」や「平坦性の回復（路面の凹凸を平らにする）」を目的として、一般道の舗装工事でも多く採用されている「切削オーバーレイ（路面を削って舗装を新設）」による舗装改良を行っています。

1日あたりの施工面積は約1,800m²（幅45m×延長40m程度）、作業員約50名（車両機械も約50台）により、運用時間外（19時30分から翌8時）で確実に作業を完了させます。

万が一、運用時間外で作業が完了しなかった場合、翌日、航空機の離着陸ができなくなる可能性があることから、日々、緊張感を持って作業します。

○1日の作業の流れ



切削オーバーレイ工事の施工状況（1）

① 路面切削



切削オーバーレイ工事の施工状況（2）

② 乳剤散布（既設舗装と新設舗装の接着の強化を目的として散布するものです）



※ 本工事では、施工の効率化（散布後の養生期間の短縮）等を目的として、NETIS（新技術情報提供システム）に登録された「分解型アスファルト乳剤」を採用しています。

③ 舗装(1)



※ アスファルトフィニッシャーは、材料を定められた幅と厚さに敷均し、強度を高めるために締固める建設機械です。

切削オーバーレイ工事の施工状況（3）

③ 舗装(2)



○ 舗装後の状況

